

## 5 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、第15表のとおり、病院、水道、工業用水道及び流域下水道の4事業の経営を行っています。

企業会計予算の総額は、639億2,198万2千円となり、前年度の624億6,629万4千円に比べ、14億5,568万8千円、2.3%増となっています。

第15表 企業会計予算(支出)の状況

(単位:千円、%)

会計名	令和5年度 当初予算額 (A)	令和4年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
病院事業	7,130,330	7,461,233	△330,903	△4.4
水道事業	18,584,570	16,082,903	2,501,667	15.6
工業用水道事業	12,331,077	12,417,035	△85,958	△0.7
電気事業	-	1,426,395	皆減	皆減
流域下水道事業	25,876,005	25,078,728	797,277	3.2
合計	63,921,982	62,466,294	1,455,688	2.3

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

### (1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 766床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	165,713人	453人
外来患者数	129,438人	533人

イ. 収益的収支 収入 5,474,217千円 資本的収支 収入 1,247,087千円  
支出 5,479,415千円 支出 1,650,915千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が27億9,489万7千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が26億7,932万円で、合わせて54億7,421万7千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が53億4,289万1千円、支払利息等の医業外費用が1億3,652万4千円で、合わせて54億7,941万5千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、519万8千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債4億4,300万円や県費負担金4億408万7千円など、合わせて12億4,708万

7千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億5,036万3千円や企業債償還金7億755万2千円など、合わせて16億5,091万5千円を計上しています。

#### ウ. 令和5年度の事業運営

- ・ ころの医療センターにおいては、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援
- ・ 一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療や地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携
- ・ 志摩病院においては、指定管理者と密接に連携しながら地域の医療ニーズをふまえた診療機能の充実
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き感染症患者の受入れ、検査・発熱外来、ワクチン接種、医療人材の派遣

などに取り組み、県立病院として役割を果たしていきます。

また、公立病院経営強化プランとして位置付ける次期中期経営計画を、地域医療構想や第8次医療計画との整合を図りつつ策定します。

## (2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m<sup>3</sup>）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m<sup>3</sup>）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m<sup>3</sup>）により、水道用水の安定した供給に努めています。

#### ア. 業務の予定量

年間総給水量	76,408,541m <sup>3</sup>
1日平均給水量	208,198m <sup>3</sup>

イ. 収益的収支	収入	9,937,993千円	資本的収支	収入	1,104,836千円
	支出	9,903,714千円		支出	8,680,856千円

収益的収入は、給水収益89億3,716万5千円及びその他営業収益を合わせた営業収益89億4,222万2千円と長期前受金戻入8億4,607万4千円等の営業外収益9億9,577万1千円です。

収益的支出は、人件費、動力費、減価償却費等の営業費用93億6,361万6千円と支払利息等の営業外費用5億3,809万8千円が主なものです。

以上の結果、1億3,321万円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、他会計補助金5億5,733万円と長期貸付金償還金1億5千万円が主なものです。

資本的支出は、中勢水道改良費等の建設改良費69億9,483万円、企業債償還金等の償還金16億8,602万6千円です。

#### ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、中勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

#### 主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R5	175,095	175,095	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R5	2,021,016	2,021,016	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R5	3,153,266	3,153,266	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R5	1,586,815	1,586,815	既設施設の改良

### (3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m<sup>3</sup>）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m<sup>3</sup>）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m<sup>3</sup>）により、工業用水の安定した供給に努めています。

#### ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	92社
(イ) 年間総給水量	213,330,540m <sup>3</sup>
1日平均給水量	582,870m <sup>3</sup>

イ. 収益的収支	収入 6,346,950千円	資本的収支	収入 2,852,142千円
	支出 6,564,767千円		支出 5,766,310千円

収益的収入は、給水収益56億9,157万2千円及びその他営業収益を合わせた営業収益59億7,388万4千円と長期前受金戻入3億4,427万8千円等の営業外収益3億7,306万6千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用62億7,844万1千円と支払利息等の営業外費用2億8,432万6千円が主なものです。

以上の結果、3億9,490万7千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債23億3,300万円と他会計出資金3億1,955万8千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費45億77万3千円と企業債償還金11億6,553万7千円です。

#### ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震

化や老朽化対策等を実施することになっています。

### 主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R5	264,907	264,907	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R5	3,241,026	3,241,026	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R5	681,096	681,096	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R5	114,186	114,186	既設施設の改良

## (4) 流域下水道事業会計

流域下水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町及び川越町を対象とした北勢沿岸流域下水道（北部処理区、南部処理区）、津市、松阪市及び多気町を対象とした中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区、雲出川左岸処理区、松阪処理区）、伊勢市、明和町及び玉城町を対象とした宮川流域下水道（宮川処理区）により、公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の改善等を目的に、汚水処理を行っています。

### ア. 業務の予定量

年間総処理水量 89,110,000m<sup>3</sup>

1日平均処理水量 244,137m<sup>3</sup>

イ. 収益的収支 収入 14,120,626千円 資本的収支 収入 11,095,881千円  
支出 14,100,486千円 支出 11,775,519千円

収益的収入は、維持管理負担金収益66億6,271万円の営業収益と、長期前受金戻入68億6,273万9千円等の営業外収益74億5,791万6千円です。

収益的支出は、委託費、減価償却費等の営業費用134億6,470万5千円と、支払利息等の営業外費用6億3,528万1千円が主なものです。

以上の結果、5,360万8千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債22億1,670万円、補助金70億1,007万5千円、負担金18億6,910万6千円です。

資本的支出は、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業等の建設改良費87億4,960万1千円、企業債償還金30億2,591万8千円です。

### ウ. 主な建設改良計画

南部浄化センターでは、汚水量の増加に対応するため、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業において、第2期建設事業を実施しています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
国補北勢沿岸流域下水道（北部）建設事業	R5	408,545	408,545	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業	R5	3,986,058	3,986,058	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（志登茂川）建設事業	R5	527,625	527,625	処理施設の増設、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸）建設事業	R5	707,860	707,860	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（松阪）建設事業	R5	968,310	968,310	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補宮川流域下水道（宮川）建設事業	R5	2,008,020	2,008,020	幹線管渠の延伸、更新・長寿命化対策、地震対策等

一口メモ

- 収益的収支… 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支… 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。